

---

# 私は貴方を忘れない

那音

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

私は貴方を忘れない

### 【Nコード】

N1933R

### 【作者名】

那音

### 【あらすじ】

愛する貴方にこの言葉を。

**（前書き）**

どうも。

すともみずみです。

今回は詩というものに初挑戦です。

初めてなのでおかしな所が盛り沢山です。

それでも読んでいただけるなら。

よろしく願いいたします。

私が風邪を拗らせた時も、貴方は優しく看病をしてくれた。  
私が泣いていた時も、貴方は優しく慰めてくれた。  
私が怒っていた時も、貴方は優しくなだめてくれた。  
私が困っていた時も、貴方は優しく手を差し伸べてくれた。

私のすべてのベクトルが貴方へ向かっている  
貴方のすべてのベクトルが私へ向かっている。

そう思っていた。

今さっきまで。

貴方の優しさはすべて偽りで、  
貴方の温もりはすべて計算で、  
貴方との記憶はすべて傷痕で、  
貴方からの愛はすべてウソで。

大切な人との別れが人を強くするなら、  
私は強さなんていらない。  
貴方が守ってくれるのなら、  
弱い私でも構わない。

でも、貴方には重すぎた。  
だから、放り捨てた。  
重すぎる荷物を整理して、  
私は不要になったもの。

自分勝手なのはわかってる。  
貴方には迷惑だったことも。  
だけどそれでも言わせてください。

『私は貴方を忘れない』

（後書き）

今作は友人に詩をリクエストされたので書きました。

難しいですが、小説とはまた違った面白さがあるのではないでしょう  
うか。

そして、最後に。

これ、詩とカテゴライズできますか？

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1933r/>

---

私は貴方を忘れない

2011年10月8日18時35分発行